

# 迎春

## 年頭所感



光町長 齊藤 譲

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には希望に満ちた爽やかな新年を、ご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、平素より町政運営に際しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰様で、当町の行財政運営は計画どおり順調に進展いたしております。とりわけ横芝町との合併協議をはじめ、「プロジェクト光50」に計上された光町五十一年の総仕上げ事業、更に、銚子連絡道路等の最重要事業も順調に進捗いたしております。私も本年は格別な思いをこめて、町政の運営にあたる覚悟でありますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

ところで、現在国、地方共に財政は危機的な状況にたたされておられ、とりわけ地方自治体は不透明、不確実な中で綱渡りのような運営を余儀なくされております。その打開策としての三位一体改革も、未だ緒についたばかりで、地方が求める自主財源の確保と、自立への確固たる道筋がみえない、難しい問題を今後に残す先送り決着となっております。

また、地方自治体の最も主要な財源である地方交付税につきましては、来年度から二年間は削減を阻止することができたことは評価に値するところではありますが、三年後の平成十九年度以降については、財務省が削減を強く主張していることから、地方自治体は今後も厳しい財政運営が続くものと懸念するところであります。

光町は昨年、将来の発展性を唯一の判断基準とし、幾多の声を聞

き、その結果横芝町との二町合併を選択し、法定合併協議会を立ち上げました。以来今日まで住民の声が隔々まで届く活力ある新町を建設すべく協議を進めてまいりました。規模的には小さな合併ではありますが、今は、無理な団体規模での理想を求めて難渋するよりも、先ず、強固な信頼関係を構築できる小規模合併によって逸早く体制を整え、次の変化を迎えることの方が、賢明ではないかと考えたからであります。匝瑳という重い歴史を尊重しつつも、より将来の可能性を求めた選択であります。

この合併協議も今日まで九回開催され、合併協定二十三項目全てが決定いたしました。特に、合併基本四項目のうち新町の名称については、公募により合併協議会で全会一致をもって「横芝光町」と決定したところであります。

また、新町建設計画は、昨年暮れの合併説明会に於いてお寄せいただいたご意見を参考とし、本年一月には最終的な計画として決定し、その後の諸手続きを経て、予定どおり法定期限内の合併を成立させる決意であります。いずれにしろ本年は、ふるさと光町の最終年度にあたることから、有終の美を飾り、爽やかに新町を立ち上げるべく渾身の努力を傾注することを、年頭にあたり固くお約束申し上げます。

結びに、本年が光町と町民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。